

不祥事根絶のための行動計画

平成 30 年 4 月 1 日
 廿日市市立大野西小学校

子どもたちは私たちの姿を見て育ちます

【不祥事根絶に向けた本校の決意】（行動基準）

使命 私たちは、子どもを守り育てます
公正 私たちは、不祥事を許しません

遵法 私たちは、法令を遵守します
公開 私たちは、地域に開かれた学校にします

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	評価方法・時期
教職員の規範意識の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体罰や個人情報の紛失などの不祥事が本校においても起こる可能性があると考えている教職員は多い。 ○ 教職員が指導に従わない児童に対して、感情的な指導になりそうな場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体罰や個人情報の紛失等、身近に捉えられる事案（「ヒヤリ ハット」等）については具体的な事例研修を実施し、お互いに指摘できる教職員集団とする。 ○ 指導に従わない児童に対する組織的な対応・指導を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 具体的事例（「ヒヤリ ハット」等）を用いた事案については、お互いに指摘するとともに、不祥事防止委員会や職員朝会で情報共有する。 ○ 職員室と連携して対応にあたる。また、指導方針を焦点化・共通認識化して指導にあたる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回、不祥事防止委員会において評価する。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職員は互いの状況を理解しながらコミュニケーションを図ろうとしている。しかし、指摘し合える環境や人間関係までは高まっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「互いの言動を指摘し合える環境や人間関係が構築されている」と答える割合を90%とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年会や部会等、主任を中心として機能化を図り、建設的な意見を出し合う職場環境を醸成する。 ○ 学年会や校務分掌において、チームで職務を行う体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回、職場アンケートを実施。
相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知は適宜行っている。 ○ 健康状態に不安を感じている教職員は複数いる。また、時間外在校時間が月に80時間を超える職員も複数いる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知を繰り返し行うとともに、気軽に相談しやすい体制をつくる。 ○ 「時間外在校時間が月に80時間を超える職員」を10%以下にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりやHPで保護者等に周知するとともに、全ての教室にポスターを掲示し、担当の教職員を明示する。 ○ 教育相談週間を設けるなど、児童・保護者が相談しやすい体制をつくる。 ○ 職員の労働時間について適切に管理し、在校時間の長い職員には個人面談を行い、健康状態の把握・勤務実態改善に向けた助言を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学期に1回、アンケートを実施する。 ○ 在校時間は月毎に集計し、衛生委員会で分析・対応方を協議する。